

あしべつ

社協だより

第 102 号

平成 26 年 12 月 1 日発行

10/1~10/9赤い羽根共同募金街頭募金運動実施



23団体198名の方に街頭募金活動にご協力をいただき、241,197円の募金が集まりました。

募金のうち約3割は全道各地で福祉事業に使われ、残りの約7割は市内の福祉団体等の活動支援として助成されます。

坂田共同募金委員会会長より挨拶（出発式にて）



社会福祉法人 芦別市社会福祉協議会

〒075-0011 芦別市北1条東1丁目8番地 芦別市総合福祉センター
TEL (0124) 22-2194 FAX (0124) 22-5466
E-MAIL ashi-sya@indigo.plala.or.jp (社会福祉協議会事務局)
kaigo-go@zpost.plala.or.jp (訪問介護ステーション)

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成金によって発行しています。

『共同募金』へのご協力ありがとうございます！

募金運動期間

赤い羽根共同募金

10月1日～12月31日

(街頭募金 10月1日～10月9日)



歳末たすけあい募金

11月1日～12月31日



街頭募金



イベント募金



芸能発表大会

芦別市高齢者大学

先着
50個限定

500円の募金で

『初音ミクピンバッジ』をプレゼント



芦別市共同募金委員会では12月1日から500円の募金で『初音ミクピンバッジ』をプレゼントすることにいたしました。

この益金は来年度の福祉事業に活用されます。

50個限定ですので、希望される方は福祉センター窓口にお越し下さい。

詳細・お問合せ ☎22-2194

芦別市共同募金委員会事務局
(芦別市社会福祉協議会内)



しゃきょう 「社協ってなに？」 出前講座いたします

しゃきょう
『社協ってなにをしているの？』時々、このような質問を受けることがあります。

社会福祉協議会では地域の皆さまに、事業内容や目的等について理解を深めていただくために出前講座を行っています。町内会や老人クラブ例会等の地域行事の際には、ぜひお声かけいただければと思います。



8月28日（木）
中央団地老人クラブ喜楽会例会
『社会福祉協議会の事業について』



10月1日（水）
芦別市高齢者大学
『地域福祉とボランティア活動について』

母子・児童
福祉

地域・在宅
福祉

居宅介護等

高齢者
福祉

障がい者
福祉

ボランティア

その他

心配ごとありませんか？

社会福祉協議会は心配ごと相談など『福祉に関する総合相談窓口』になっています。

地域の困りごとや介護での心配ごとなど日常生活でのお困りの相談に応じています。

社会福祉協議会で対応することが困難な場合には、関係機関と連携して問題解決に向けたお手伝いをさせていただきます。お気軽にご相談ください!!

(☎22-2194)

福祉のひろば

～障がい者の理解と交流を～

『2014芦別市星の降る里ふれあい広場』

9月7日（日）

芦別市役所前もたち公園にて『2014芦別市星の降る里ふれあい広場』が開催されました。

このイベントは、障がい者の社会参加とノーマライゼーションの認識定着を目的とし、ふれあいコンサートをはじめ福祉団体による製作品販売や福祉機器・車両展示等が行われ、障がい者の理解と交流を深めました。



～85歳以上の健康な方を表彰～

『第12回芦別市高齢者健康コンクール』

同日、ふれあい広場ステージ上にて『第12回芦別市高齢者健康コンクール』表彰式が行われ、芦別市医師会をはじめとする審査委員の厳正なる審査の結果、次の7名の方が入賞されました。

女性の部（4名）

【最優良健康賞】新保タミさん（右から4番目）

【優良健康賞】松本律子さん（右から3番目）

檜山千代さん（右から2番目）

大橋光子さん（右から1番目）

男性の部（3名）

【最優良健康賞】荒井 彰さん（左から3番目）

【優良健康賞】水野一雄さん（左から2番目）

村上寿男さん（左から1番目）



～認知症や障がい者の権利侵害を防止～

『権利擁護セミナー』開催

9月16日（火）～11月14日（金）

芦別市総合福祉センターにおいて第1回～第5回に渡り権利擁護セミナーが開催され、5日間で延べ約200名の参加がありました。

中野記念病院院長 古瀬 勉先生をはじめ各関係機関の方より『認知症の理解について』、『社会的弱者の権利侵害を防止するために』等の講義があり、認知症や障がい等により自己決定能力が低下した方への権利侵害を防止する制度の理解を深めました。

なお、講座開催に係る経費は皆さまからお寄せいただいた『愛情銀行』への寄付金を活用させていただきました。



地域ので支える福祉

～元気いっぱい 高齢者による芸能披露の場～ 芦別市老人クラブ連合会『芸能発表大会』

10月18日（土）

芦別市老人クラブ連合会（西道 清会長）主催の芸能発表大会が芦別市民会館において開催され、約700名の来場者で会場が埋めつくされました。

老人クラブ会員24組（約120名）がステージに立ち、舞踊、カラオケ、詩吟、ダンス等を披露し、会場を沸かせました。



野花南老人クラブ喜楽園による
コーラス『星の降る里』



西道会長より岡部社協会長に愛情銀行への
寄付金として5万円を贈呈いただきました。

～災害が起きた時のために～

本町地区民生委員協議会『防災に係る研修』

10月27日（月）

本町地区民生委員協議会（瀧 仁美地区会長）定例会において芦別市総務課総務防災係危機・管理専門員 菊崎彰一氏ほか2名の方を講師にお招きし、防災に係る研修が行われました。

講話をはじめ、災害発生時を想定した防災ゲーム『クロスロード』が行われました。クロスロードとは岐路や分かれ道のことを意味し、参加者が自分自身で二者択一の設問にYESまたはNOの判断を下し、防災を我が身のこととして考えると同時に意見を交わすことを狙いとした集団ゲームです。

災害時には、地域の実情を知る民生委員児童委員及び主任児童委員による避難者の誘導や避難所支援等の協力が必要となります。この研修を通して、災害時の対応を学びました。



在宅福祉サービス事業町内会の活動

芦別市内には38町内会があり、各町内会で在宅福祉サービス事業が行われています。今回は『新城町町内会』を紹介いたします。

新城町町内会

人 口	267 人
世 帯 数	113 世帯

町内会長
矢口 登義さん



新城町町内会は、芦別市の中心部から15kmに位置する農業中心の町です。市の中心部から離れていることもあって、通院を除き集落完結型でまとまりの良い町です。また9年目を迎えた『芦別市芸術文化交流館』には年間2,300人を超える来館者があり、集落の賑わい創出にもなっているところです。



『高齢者食事会』での様子

地域の人口構成は、65歳以上は54%、75歳以上は31%と高齢化が急速に進み、ひとりぐらし世帯も年々増加しています。

町内会の高齢者支援施策の主のものは、『敬老の日記念品贈呈』、『防火査察に合わせた声かけ』、『祭りへの招待』、『高齢者食事会』などを実施しており、心豊かで安心・安全な町づくりに努めているところです。

～貸出物品のご案内～

主な貸出物品一覧

物 品 名	保 有 数
車いす	9 台
チャイルドシート	5 台
ジュニアシート	2 台
高齢者擬似体験セット	3 セット
点字器・点筆	44 セット
アイマスク	22 枚
輪投げ	1 セット
ボールボード	1 セット
低床型玉入れ	5 台
ストライクボード	5 台
紅白玉入れ	1 セット
カローリング	1 セット
綱引き	1 台



10月12日(日)
上芦別町第5町内会
『長寿を祝う町内交流会』で輪投げを行いました

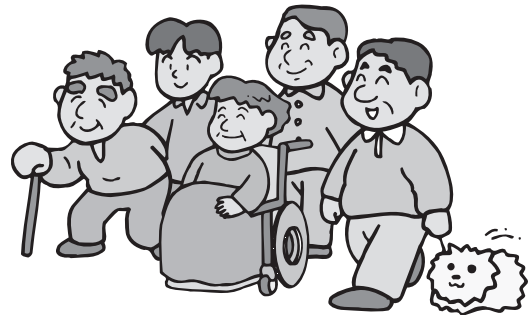
※上記以外にも貸出物品があります。詳細は社会福祉協議会(☎22-2194)までお問合せ下さい。

芦別市社会福祉協議会は

会員の皆様に支えていただいております

日頃、社会福祉協議会の事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

社会福祉協議会の事業は、皆さま方からお寄せいただいた会費等により地域福祉の推進に努めております。本会の趣旨にご賛同いただいた方に対して厚くお礼申し上げます。



平成26年7月12日～平成26年10月31日（敬称略）

第2号会員（1,000円）		1口	河内 繁 義	1口	長 沢 友 夫	2口	岡 崎 正 敏
1口	荒 当 明 子	1口	鈴 木 重 盛	1口	野 田 進	2口	中 田 一 郎
	大 友 澄 雄		竹 内 玄 厚		5口		包 子 道 雄
	片 山 勝 二		竹 内 一			12口	豊 岡 登 一 郎
	加 藤 靖		中 川 隆 弘		村 上 桂 子		西 本 三 平

愛情銀行へのあたたかい善意ありがとうございます

平成26年7月16日～平成26年10月31日

	氏 名	金額（円）	摘 要
現金	ボランティアなごみ 代表 木綿 トモ子 様	2,000	ふれあい広場の益金を社会福祉事業へ
	手話サークルあしべつ 様	3,000	ふれあい広場の益金を社会福祉事業へ
	ボランティアあすなろ会 様 ボランティアともしび会 様	5,100	ふれあい広場の益金を社会福祉事業へ
	芦別市老人クラブ連合会 会長 西 道 清 様	50,000	芸能発表大会の益金を社会福祉事業へ
	石 田 貞 子 様	200,000	社会福祉事業へ
	匿名	5,000	社会福祉事業へ

	氏 名	摘 要
物品	旭陶友会 会長 佐々木八重子 様	ストラップ130個
	匿名	バスタオル6枚、タオルケット4枚

社協の伝言板

ボランティアスクール

ボランティアへの関心や将来『医療・保健・福祉』の道を目指す中学生・高校生を対象として開催します。

と き 1日目 平成27年1月8日(木)
9:30~15:30
2日目 平成27年1月9日(金)
10:00~16:00

と ころ 芦別市総合福祉センターほか
内 容 認知症サポーター養成講座、子育て
疑似体験・親子との交流、福祉施設
利用者との交流ほか

参加対象 市内の中学生・高校生
参加料 無 料 (昼食は各自持参)
申込締切 平成26年12月19日(金)



昨年の様子
(子育て疑似体験)

日常生活自立支援事業生活支援員養成講座

判断能力が低下している方への福祉サービス利用援助や日常的金銭管理を行う生活支援員を養成することを目的として開催します。

と き 第1回 平成27年1月15日(木)
13:30~15:00
第2回 平成27年1月22日(木)
13:30~16:00
第3回 平成27年1月26日(月)
13:30~15:00

と ころ 芦別市総合福祉センター ボランティアルーム
内 容 『日常生活自立支援事業の概要について』、
『サービス利用対象者の理解について』、
『生活支援員の役割と業務について』ほか
参加対象 原則として全日程出席でき、生活支援員業務に関心のある方

参加定員 10名
参加料 無 料
申込締切 平成27年1月8日(木)



『除雪ボランティア』募集中!!

芦別市内では冬期間に除雪作業が困難な高齢者・障がい者世帯等があります。

地域貢献活動の一つとして、通路や家屋周辺等の除雪・排雪にご協力をいただける個人、団体および企業等の除雪ボランティアを募集しています。



昨年の様子 (芦別高等学校野球部)

編集後記

昨年は大雪により、ある町内会の方より『自宅が雪で埋もれそうになっている世帯がある』という情報をいただきました。ボランティアの申込みが少なかったため、町内会の方々と社会福祉協議会職員数名により除雪をしました。

町内会の方を中心に行ったことで、あっという間に終わることができ、地域の方々のお力がどれほど大切であるかを実感しました。

除雪をしていただけるボランティアを心待ちにしています。(N)

参加申込・お問合せは・・・芦別市社会福祉協議会 ☎22-2194